

令和6年度 指定管理者業務評価票 (中間・年間)

令和 7年 6月 10日 作成

【川西市】

指定管理者名 特定非営利活動法人市民事務局かわにし及び株式会社ジョイン川西グループ

指定期間 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日

I 業務の実施体制及び業務内容について

評価項目	評価内容	仕様書		9月(中間)		年間		備考
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	個人情報の保護対策について	P.1	2	A	A	A	A	
2	法令等遵守について	P.1	2	A	A	A	A	
3	川西市市民活動センター事業について	P.2	7	A	A	A	A	
4		P.2	7	A	A	A	A	
5		P.3	7	A	A	S	S	市民活動に関する講座を計13回、展示を1回開催したため
6		P.3	7	A	A	A	A	
7		P.3	7	A	A	S	S	訪問・来所・電話・メールなどにより、継続的なサポートを行っているため
8		P.3	7	A	A	B+	B+	
9		P.4	7	A	A	A	A	
10		P.4	7	A	A	A	A	
11	川西市男女共同参画センター事業について	P.4	7	A	A	A	A	
12		P.4	7	A	A	A	A	
13		P.5	7	A	A	A	A	
14		P.5	7	A	A	A	A	
15	センター共通事業	P.5	7	A	A	B+	B+	
16	施設管理について	P.6	9	A	A	A	A	
17		P.6	9	A	A	A	A	

評価項目	評価内容	仕様書		9月 (中間)		年間		備考	
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市		
18	管理の記録、報告について	協定書等に従い、事業計画書のほか各種報告書を市に提出している。	P.7	10	A	A	A	A	
19		業務委託仕様書等に定める業務の実施体制は確保されている。連絡調整会議等に参加し、必要な資料等を提供している。	P.7	10	A	A	A	A	
20		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	P.8	10	A	A	A	A	
21	外部委託について	外部委託の内容は、事前に市に承諾を受けており、適切に行っている。	P.8	10	A	A	A	A	
22	緊急時の対応について	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	P.8	10	A	A	A	A	
23		緊急時のマニュアルが整備され、周知徹底されている。	P.8	10	A	A	A	A	
24		緊急時又は危険予測時に、直ちに市に報告を行い、措置を講じている。	P.8	10	A	A	A	A	
25	組織体制について	事業計画、業務委託仕様書等に即し、人員を過不足なく配置している。	P.10	16	A	A	A	A	
26		事業計画書、提案書に即し、研修等を実施して、職員の育成を行っている。	P.10	16	A	A	A	A	
27		センターの管理運営に必要な資格を有する人員が確保されている。	P.10	16	A	A	A	A	
28	運営管理に関する業務について	労働環境が適正に保持されている。	P.10	16	A	A	A	A	
29		迅速、的確かつ効率的な人員配置で実施する体制で行っている。	P.10	16	A	A	A	A	
< I 総括 >		業務の実施状況に関する評価			A	A	A	A	

II サービスの質の評価

評価項目	評価内容	仕様書						備考
		9月(中間)		年間				
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	事業の計画性・透明性について			A	A	A	A	
2	環境への配慮について	P.1	2	A	A	A	A	
3	他部署との連携について	P.1	2	A	A	A	A	
4	利用者満足度について	P.6	8	A	A	S	S	「貸室等利用」「女性のための相談」「講座・交流会」に関する満足度が非常に高いため
5		P.8	10	A	A	A	A	
6	利用者対応について	P.8	10	A	A	A	A	
7		P.8	10	A	A	A	A	
8	業務改善について	P.9	11	A	A	A	A	
9	自主事業について	P.10	15	A	A	A	A	
< II 総括 >	業務の内容・質に関する評価			A	A	A	A	

III サービスの安定性の評価

評価項目	評価内容	仕様書						備考
		9月(中間)		年間				
		頁	見出し	管理者	川西市	管理者	川西市	
1	経費の削減	P.1	2	A	A	A	A	
2	事業収支			A	A	B+	B+	
3	経理事務	P.8	10	A	A	A	A	
< III 総括 >	経費の収支等に関する評価			A	A	A	A	

総合

<p>指定管理者所見</p>	<p>●川西市市民活動センター・川西市男女共同参画センター第4期指定管理事業では、スローガン「育み、育まれる『場』」の基に「5つの方針」を立てて事業遂行している。          (1)川西市内での社会貢献活動の促進、男女共同参画社会づくりの推進のために、市民の「公共性」を涵養しつつ、マチに「多様性」のある豊かな文化が醸成できるよう、併設館の特徴を活かした事業を展開する。          (2)公共施設としての「公平性」については「量的」「質的」両面に配慮し、利用者に納得感が得られる運営管理に努める。          (3)「利便性」については、市民視点・利用者目線に立った「使いやすさ」「便利さ」「お役立ち感」を心がけるとともに、「民間」視点を活かした経営効率化を引き続き図っていく。          (4)「利用者とともに創る“施設”」として「利用者自治」をモットーに、魅力ある「場」づくりを継続し、対象者別に様々なメディアを効果的に用いてさらなる利用を促す。          (5)働くスタッフにとっても「育み、育まれる“場”」となるべく配慮し、施設の「持続可能な運営管理」をめざしていく。          ●第4期2年度も今までの蓄積を糧に、この事業で大事にしている「利用者自治」の哲学をもって川西市の「協働モデル」となるべく創意工夫しながら事業を実施した。</p>
<p>評価の理由等</p>	<p>・急速に進展したICT社会での様々な方策が出現する中、タブレットやwifiの貸出し、スマホの使い方サポート、オンライン会議の実施などを積極的に取り入れたことで、前年度に比べて稼働率や貸室利用者数が回復傾向となった。          ・この大きな変換期に必要なことは、世界的な視座での「利己」から「利他」へのパラダイムシフト、そしてそれが「縦系」ならば、織り込んでいく「横系」は「市民」のエンパワメントによる「solidarity(連帯)」ではないかと考える。その理念と、事業の評価軸としては「量的評価」のみならず「質的評価」にも力点を置いて、成果の視覚化に引き続き取り組んでいきたい。          ・当事業に携わるスタッフ(20代～60代)も定着し、各自の意欲的な取り組みで新たな内容の事業も実施することができた。新事業のマッチング制度なども真摯に取り組む、成果を上げている。引き続き責任性を付加した業務分担を進め、経験やスキルの継承・共有化で、属人的にならない事業運営に努めていきたい。</p>
<p>総合評価</p>	<p>A</p>
<p>市コメント</p>	<p>来館者数はコロナ以前の水準には戻っておらず、登録団体数も昨年度とほぼ同数となっている。施設運営の質の維持向上に取り組みながら、新規利用者を開拓し、来館者数、講座参加者数等の増加につなげていただきたい。収支については、アウトリーチ事業の増加などで人件費が増加しており、貸室の稼働率を上げるなど収入の増加に対する努力も引き続き必要である。          市民活動センター事業では、自治会等地域団体に対して積極的なアウトリーチや電話・メール等による継続的なサポートを行っていることは評価できる。また、地域人材マッチングにおいて目標には至っていないもののマッチング登録件数は徐々に増えてきている。今後も制度の周知を行うとともに、アウトリーチなどの手法を検討しながら登録件数及びマッチング件数の増加に努めていただきたい。          男女共同参画センター事業では、どの項目も計画通りに行っており、評価できる。特に、女性のための相談では、満足度が非常に高く、高く評価できる。今後も講座内容等に創意工夫し、参加者の増加に努めていただきたい。          今後も、市と指定管理者との調整会議を毎月開催し、情報共有を図りながら、施設の管理運営に努めていただきたい。</p>
<p>外部評価委員コメント</p>	<p>・センターとして、地域人材マッチングが重要となってくるであろう。地域人材マッチングは、人と人との交流、心からのつながりには時間がかかるが、センターの役割は欠かせない。マッチング交流会も必要である。          ・地域人材マッチングは、新しく何かを始める方にとって、公共施設が間に入ってくれることで、双方が安心してつながることができる。          ・地域団体の相談は、今後も是非続けていただきたい。          ・産業振興課と共催で講座をされているが、市役所の様々な部署との連携がもっと必要ではないか。共催のあり方を工夫されたらよい。          ・講座に参加したくてもセンターに来ることが難しい方に対して、ハイブリッド配信等も検討していく必要がある。          ・目標がコロナ前でもなく、対前年比を目指すのではなく、新たな目標をたて、それに向かっていく視点が必要である。有効性、効率性、適正性を見据えた事業が必要である。          ・指定期間中に賃金水準または物価水準の変動により協議すると条文があるので、協議すべきである。          ・中学校への出張講座をされていたが、このような取り組みは、大事で、良い取り組み。今後も是非続けていただきたい。          ・SNSでの発信も工夫されたらよい。</p>

なお、指定管理者業務評価票において、評価がB+以下の項目については、管理内容における課題と改善内容を別途様式2に記載すること。

※ 評価区分

個別評価 【評価者】 指定管理者 市	S	協定書等の内容を遵守し、その内容より優れた管理内容である。
	A	協定書等の内容を遵守した内容である。
	B+	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けて取り組んでいる。
	B	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けた取り組みに具体性が乏しい。
	B-	協定書等の内容を概ね遵守しているが、一部課題とすべき項目がある。 当該課題について指定管理者において解決に向けた取り組みに着手できていない。
	C	協定書等の内容を遵守しておらず、今後も適切な管理運営が見込めない。
総括評価 【評価者】 指定管理者 市	S(優良)	個別評価がすべてA以上で、かつSが過半数以上である。
	A(良好)	個別評価がすべてB以上で、かつA以上が8割以上である。
	B (良好、一部 課題あり)	個別評価がすべてB以上である。
	C(要改善)	個別評価にCが含まれる。
総合評価 【評価者】 市	S(優良)	総括評価がすべてA以上で、かつSが2/3以上である。
	A(良好)	総括評価がすべてB以上で、かつA以上が2/3以上である。
	B (良好、一部 課題あり)	総括評価がすべてB以上である。
	C(要改善)	総括評価にCが含まれる。

様式②

## 令和6年度 指定管理者業務評価個票

令和7年6月10日 時点

指定管理者名

指定期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日

評価項目	管理内容における課題及び改善内容	評価		
		管理者	川西市	備考
Ⅲ-2	アウトリーチ事業の増加など、運営スタッフの人件費に課題があった。貸室料金やその他の収入増で解決を図ればと考える。	B+	B+	
前回から継続している課題				
I-8	登録・マッチングは着実に増えているが、目標値に届かなかった。チラシのリニューアル、マッチング事例のWEB掲載、ニュースレターの送付など、広報により力を入れていく。	B+	B+	
I-15	「フェスタ」に関しては、目標値を大幅に超える参加があったが、交流会への参加が少なかった。増加傾向にあるので、「みんなでつくる施設」というコンセプトを引き続きPRLしていく。	B+	B+	
特記事項				

※前回の評価において、記載した項目についても課題が改善するまで記載すること。